

## 第41回男女共同参画推進委員会 事前質問シートまとめ2

- 下野市において、男女共同参画が実現されていると感じる部分、実現されていないと感じる部分をお答えください。普段活動される中で感じる事、生活される中で感じる事など自由にお答えください。

学校等の教育現場では、男女共同参画をことさらに言わなくて良いほど進んでいるように思えます。一方、社会的には重要な地位を担う女性は少なくまだまだです。広報の市役所職員の業務の表にも残念ながら明確に表れていると思います。

市役所や市議会のようによく見えるところで、女性が活躍できるしくみが導入されることを強く希望しています。

行政から市民（個人・団体）に対しては、男女の区別は感じておらず対応が適切であるし、親切である。

自治会等の役員選出などは、女性の役割分担が少ない。また、自治会行事等においては女性も協力するが、責任者としての活躍の場が少ないのでは…。

資料2-1 施策の方向 I-3 「男女が共に担う地域社会づくりへの支援」でも、感じる。逆に、育成会等には女性が多く参加している。

男性はプライド、女性は出る釘は打たれないように年齢が高くなるほど、感じる。

地域行事においては、男性・父親の姿をよく見かける。自治体などで、子育て世代と定年の間の世代50～60代男性がもっと活躍されると地域の活気づけにつながると思う。自ら刷新しようという女性は少数派。

トップは男性、女性は裏方のイメージや、構図は根強い。

町内会会長、こども会会長に女性がいる。

男女共同参画のつどい in しもつけ（映画上映会）。

●下野市の男女共同参画の現状を踏まえ、下野市が目指すべき将来像のキーワードを挙げてください。

- 共に対等な立場で協力し合い、個性や能力を発揮できる下野市
- 共に担い、共に補い、共に楽しく、明るいまちの下野市
- 支え合い、活かし、生かされる下野市
- 多様な生き方を尊重し合う、心豊かな社会の実現を目指す下野市
- 目標となる同性が身近にいる 素敵なお人に出会えるまち
- 男女、全ての世代が活躍できる下野市
- 個性を尊重し、第二の人生の「生きがいづくり」が豊富な下野市



(市の将来像に含める単語・要素は?)

メモ欄：

参考) 第二次プランの将来像

お互いを理解し尊重する心豊かな社会の実現を目指す下野市